

大部屋出身の俳優 土平ドンペイさん(53)=草津市

半ズボンに白のハイソックスという奇抜ない立ちで栄輔の側近を演じた

憎めない、憎まれ役に

わたしの歩跡

△NHK連続テレビ小説「べっぴんさん」(2016年度下半期)で、子ども服作りに励む

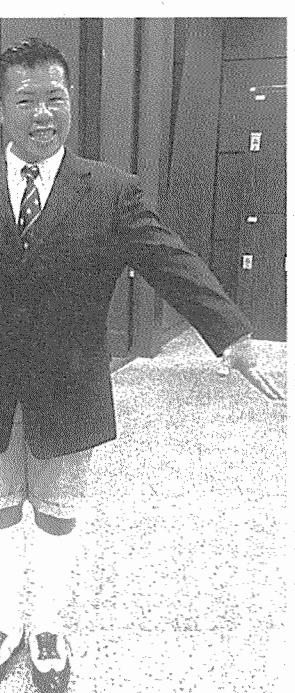
ヒロインたちを苦しめ、心底憎まれる玉井を演じた。大きく分けて3回出演する。初めは闇市、

次は単独での悪巧み。そして『岩佐采輔役』で、歌手でもある松下優也さんが出なくなつて、世の中が栄輔ロスになつてたんですけど、アパレル企業の創設者として再登場するんですね。

しかも、半ズボン、白のハイソックスという変わったなりなんです。衣装合わせで監督たちが「これがいいと思います」と言つたときは、僕としては正直、これありかなつて思つたんですけど、後で共演した伊武雅刀さんが「懐かしいねえ。當時は結構着ていたよ」と教えてください、自信がつきました。

視聴者に嫌われたままでは悲しいなあと思つてたら、放送開始から4カ月目の17年1月にNHK大阪ホールでファンイベント「男会」があつたんですね。高良健吾さんら男優10人ぐらいの中に、悪役としては一人だけ入れてください、半ズボン姿で出てきたんです。約7000人の応募があつて、約1200人が観覧されて。後で放送もされたんですね。

玉井じやなく、土平ドンペイで出るので、「あまりの酷評に数日間、枕をぬらして寝ました」とか、普段通りおもろいことを言つたら、その日のネットから「玉井ってあんなヤツやつたん?」「笑顔がめちゃかわいいんやん」「笑うんやな」とか視聴者のイメージが急に



「あの通りの時代にひづてもうでも『玉井やつたらええよ』『生きるために必死やつたらあやるや』とか変わってきました。

撮影現場では主演の芳根京子ちゃんとも写真をよう撮つてたんですね。「玉井の顔してらむから、京子ちゃん、おどおどしている顔で撮る」、その後で「2人とも満面の笑みで撮る」って。京子ちゃんが「実はドンペイさんはこんなおちやめな人です」みたいなことを書いてブログにアップしたら、何万件ものアクセスがあつて、急速に玉井人気みたいになりました。

△視聴者は栄輔の下でも、玉井がいつか悪さをするのではと氣をもんだ▽

栄輔の会社が倒産してしまったことから「玉井ってあんなヤツやつたん?」「笑顔がめちゃかわいいんやん」「笑うんやな」とか視聴者のイメージが急に

変わったみたいで。日々の放送でも「玉井やつたらええよ」「生きるために必死やつたらあやるや」とか変わってきました。

撮影現場では主演の芳根京子ちゃんとも写真をよう撮つてたんですね。「玉井の顔してらむから、京子ちゃん、おどおどしている顔で撮る」、その後で「2人とも満面の笑みで撮る」って。京子ちゃんが「実はドンペイさんはこんなおちやめな人です」みたいなことを書いてブログにアップしたら、何万件ものアクセスがあつて、急速に玉井人気みたいになりました。

△視聴者は栄輔の下でも、玉井がいつか悪さをするのではと氣をもんだ▽

栄輔の会社が倒産してしまったことから「玉井ってあんなヤツやつたん?」「笑顔がめちゃかわいいんやん」「笑うんやな」とか視聴者のイメージが急に

栄輔役の松下優也さん(手前)を見送る場面で、玉井役として涙を浮かべる土平ペイさん。役柄になりきり、号泣したところが流れも本人提供

買収先の西岡徳馬さんと面談して帰るときに玉井が栄輔を見送る形になって書つんです。

※ご感想をお寄せください
(ohzawa-s@mainichi.co.jp)。

【編集局・大澤重人】

次回は28日